
情報活用能力を育てる学習の工夫

- 総合的な学習の時間の指導を通して -

藤沢小学校

1 単元名 大好き、わたしたちの町 ～仙元山をたんけんしよう～ 第3学年

2 単元の目標

仙元山の自然などに興味関心を持って活動し、課題を見つけることができる。
自分たちで考えた課題について最後まで意欲的に調べ、わかりやすく伝えることができる。
遊んだり調べたりする活動を通して仙元山への愛着をさらに深め、仙元山のよさに気づくことができる。

3 単元計画の概要(43時間扱い)

- ふれる・つかむ 「仙元山ウォッチングに行こう。」(一斉)
(10時間) ・発見したことや興味関心を持ったことを記録する。
「仙元山の物知り博士になろう。」(一斉 グループ)
・自分の調べたいテーマを決める
- 調べる 「仙元山調査に出発だ。」(グループ)
(12時間) ・テーマに沿って調べる
- まとめる・ひろげる 「仙元山をみんなに紹介しよう。」(グループ)
(21時間) ・それぞれの方法で工夫してまとめ、発表する。
「見て、仙元山ってステキでしょ！」
・発表会をする。
「活動を振り返る。」(個人)
・学習しての感想をまとめ、仙元山への思いを確かめる。

4 情報機器活用の意図・情報教育の視点

発見したことを記録する活動等を通して、情報を収集することの大切さに気づかせる。
調べたいテーマを決め、調べる方法や計画を考える活動を通して、必要な情報を収集する力や収集した情報の中から大事なことを選択する力を育てる。
本、図鑑、パンフレット、カセットレコーダー、インターネット、デジカメ、コンピュータ等の操作に慣れさせ、情報機器の活用に主体的に取り組む力を育てる。
グループごとに調べたことをまとめる方法を話し合わせ、調べた事実を見やすく伝える工夫、わかりやすく説明する方法を考えさせながら、表現力、コミュニケーション能力を育てる。

5 活動の様子



発見したことをノートにすぐ記録しています。



草花の名前は図鑑を見てその場で調べています。



どんなふうにもとめるかみんなでも相談しています。



デジカメで撮ったものを模造紙にまとめています。



調べたことを本にして発表しました。



紙芝居にして自分たちで考えた問題も作りました。

6 成果

ふれる・つかむ活動では、毎時間記録用紙を用意した。そのため、仙元山で見つけた「楽しいこと」や「不思議に思ったこと」を実物を見ながら記録することができた。次の課題設定場面ではそれが役に立ち、児童も情報を収集する大切さを感じることができた。

調べる活動では、草木の名前を調べるために図鑑を持ち歩くグループ、鳥の鳴き声を録音するためにテープレコーダーを用意するグループ、発表を意識してデジカメに記録するグループ、通行人にインタビューするグループ等の活動が見られ、情報機器の活用にだいぶ慣れたようだった。

まとめる活動では、調べたことを本としてまとめたり、紙芝居にしたり、劇を作ったり、すごろくゲームにしたり、マップを作ったり、各グループがそれぞれ工夫を凝らして発表に取り組んだ。また、練習の時にお互いの発表を見合い、聞き合いしてよいところを認め合うようにした。発表の時には原稿を見ないで自分の言葉として伝えることもできるようになり、表現力、コミュニケーション能力の高まりが見られた。

7 児童の感想

仙元山へ行くと、わたしたちを囲むようにそこら中に葉っぱがありました。調べているうちにどうして寒くなると葉っぱの色が変わるのか、ずっと前から不思議に思っていたことを調べてみたくなりました。そしてわかったことは・・・(中略)・・・わたしはこんなこと初めて知りました。葉っぱの色が変わることを調べたくて調べたくてしょうがなかったのです。葉っぱの名前もたくさん知りました。仙元山のこともたくさん知ることができて、本当にうれしかったです。まとめの時は、デジタルカメラを使って新聞を作りました。発表の時は2年生が聞きに来てくれて、一生懸命聞いてくれてよかったです。これからも仙元山のことを調べてみたいです。

